

小学生の部

左京区長賞・京都市立錦林小学校六年 竹村 柑南

自分を大切に

京都市立錦林小学校六年 竹村 柑南

「社会を明るくする運動」。その言葉を初めて聞いた時は、どういう意味なのかよく分からなかった。だから、この題の意味を知った時は、少し驚いた。更生とか、非行防止のこととかを書くんだと、母親に相談してみると、「難しいテーマやね」と言われた。母親の言う通り、とても難しいテーマだ。ただでさえニュースを自分から進んで見ない私が、そんなことを書けるのだろうか。

そんな不安を頭の隅に置いて、いつものようにアニメを見る。その時、ハツとした。自分がいつも見ているのは探偵のアニメ犯罪とはいっても隣り合わせのアニメだ。もしかしたら、何かヒントがあるかもしれない。

そういえば、さっきまですごく親切だった人が犯人だとわかった時、「いい人だと信じてたのに」とよく思う。主人公たちに優しくしていた人が犯人だと知ると、いつも衝撃を受けるのだ。あと、「犯人も可哀想だな」と思うこともよくある。それはきつと、犯人が犯罪を犯した理由が、それなりに説得力のある理由だから。犯罪を犯すのは、許されないことだ。でも、例えば殺人事件で、「親を自殺に追い込んだのが許せなかった」とか、「この人のあの言葉に傷ついた」とか言われてしまうと、何も言えなくなってしまうのである。

よくよく考えてみると、どんな人でも、いつ、どこで犯罪を犯してもおかしくないのかもしれない。本当は優しい人でも、どこかで溜まった怒りや悲しみ、復讐心で、犯罪を犯そうという考えに至ってしまうことがあるのかもしれない。私が見たのはアニメで、現実ではないが、現実でもきつ

と同じだと思う。実際、何気なく見たニュースのある事件でも、その事件の容疑者の近所の人、「そんな人には見えなかった。よく挨拶してくれた」とインタビューに答えていた。

そういう感情を持っている人が、犯罪を犯すことから救うためには、どうすれば良いのだろうか。やっぱり、まずは一人一人が自分を大切にすることが一つの策だと思う。自分の中に、さっき書いた怒りや悲しみ、復讐心だけでなく、ストレスや孤独なども溜まってしまつと、つい悪いことをしてしまうたくなるのも分かる。だからこそ、それを抱え込まずに、誰かに相談することが大切だと思う。相談することは少し照れくさいかもしれない。でも、自分の心境を人に話すことで、少しでも自分の心が軽くなると感じるのであれば、それは話すべきだと思う。自分を大切にすることで、他の誰かを大切にできる余裕ができ、一人一人が大切にされる社会になっていくのではないだろうか。

自分を大切に。一人一人が大切にされる。それを続けていくことで、誰もが幸せに生きていけるような、そんな社会にしていきたい。

そして、最後にもう一つ。作文を書く前、私は、ニュースを見ていないと、更生や非行防止のことなんて考えられないと思っていた。でも、それは違う。ニュースを見ていても、見ていなくても、社会を明るくするために考えることは誰だつてできるのだ。犯罪に詳しい人も、あまり詳しくない人も、社会を明るくするためにどうすればいいのかを考え、自分にできることから始めていく。そして、みんなが社会をよりよくしていく。そんな世の中になることを、私は願っている。